

頭部打撲時の説明書

静岡県剣道連盟
医科学委員会

剣道の試合中に転倒し、後頭部など頭を打撲した時、基本的に中止・欠場をご検討お願いします。

1、脳震盪

脳が転倒、打撲により揺すられて、目がまわる、吐き気がする、嘔吐するなどの症状が見られます。バランスがうまく取れずに歩けない、頭が痛い、ボーとする、会話の辻褄が合わないなどの症状が続き、継ぎ足歩行ができない、簡単な計算ができない時には、直ちに競技を中止、試合には復帰せず、早めに通院できる医療機関へご相談ください。

2、一過性逆行性健忘

頭部をぶつけた衝撃で、記憶が一部なくなってしまうことがあります。朝からの出来事を思い出せない、今どこにいるのかわからないなどの症状がある時、早めに医療機関をご受診ください。

3、急性硬膜下血腫

頭の骨が折れた時には、頭をぶつけて2時間程度経ってから、急激に意識が悪化し、会話ができなくなり、**嘔吐し**、片方の手足が動かなくなる状況に急変することがあります。その時は、直ちに**救急車を要請**し、病院でCTなどの検査を受け、手術を受ける必要があります。命に関わる状況です。

4、外傷性頸部症候群

帰宅後、徐々に1週間程度かけて、頸部の痛み、肩こり、手のしびれ、頭痛などが悪化、食事が摂れず、日常生活に困る状態になることがあります。いわゆるムチウチによる症状です。2週間程度で改善にむかうのが一般的ですが、薬の内服・湿布・頸椎用カラーによる固定などで症状をやわらげることはできます。お近くの医療機関にご相談ください。

5、中心性脊髄損傷

首が大きく曲がった状態で転倒した時、もともと首の骨に関する病気がある時、首の神経の症状が出て、手が痛んだり、**しびれたり**、**動かなくなる**ことがあります。首の安静を保ち、直ちに**救急車**で病院を受診する必要があります。早めに受診しなかった場合には、手足の動かない症状や痛みしびれが続いたりといった後遺症で日常生活に支障をきたすことがあります。

6、その他

高齢者の場合、2ヶ月程度経ってから、食欲がなくなり、頭痛が悪化し、片方の手足が動かない**慢性硬膜下血腫**、若い方では原因不明の頭痛が長期に続く**髄液漏**など、転倒をきっかけに具合の悪くなる病気があります。お近くの医療機関・診療所にご相談ください。

試合中のケガ等でお困りの時には静岡県剣道連盟医科学委員北濱（脳神経外科専門医、スポーツドクター）までご連絡・ご相談ください。静岡県剣道連盟などと適切に情報共有するお手伝いをいたします。

医科学委員 北濱義博 ykitah@szrb.jp TEL: 054-646-4501